

九州大学法学部規則

平成16年度九大規則第109号
制定：平成16年 4月 1日
最終改正：令和 6年 3月29日
(令和5年度九大規則第51号)

(趣旨)

第1条 この規則は、九州大学学部通則（平成16年度九大規則第2号。以下「通則」という。）により各学部規則において定めるように規定されている事項その他法学部の教育に関し必要な事項を定めるものとする。

第1条の2 法学部は、法学・政治学教育を通じて、地域社会、日本社会、国際社会にあってリーダーシップを発揮しうる創造性豊かな人材を組織的に養成する。

(再入学等)

第2条 学生の再入学、転学部、転入学又は編入学（以下「再入学等」という。）については、収容定員に余裕がある場合又は特に必要と認める場合に教授会の議を経て、考査の上許可することがある。

2 前項の規定により再入学等を許可された者の修業年限、授業科目の履修、単位修得方法その他については、教授会の議を経て、学部長が決定する。

第3条 科目等履修生として本学において一定の単位を修得した後に入学する者の修業年限の通算については、教授会の議を経て、学部長が決定する。

(長期にわたる教育課程の履修)

第3条の2 学生が、通則第23条の規定に基づき、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを希望する旨を学部長に申し出たときは、教授会の議を経て学部長が定めるところにより、その計画的な履修を認めることができる。

(教育課程)

第4条 法学部における教育課程は、基幹教育科目及び専攻教育科目により編成するものとする。

2 基幹教育科目に関する授業科目、単位数及び最低修得単位数は、別表第1のとおりとする。

3 専攻教育科目に関する授業科目及び単位数は、別表第2のとおりとする。

4 前項に規定するもののほか臨時に開設する授業科目は、その都度教授会の議を経て、学部長が別に定める。

5 単位計算の基準は、講義及び演習については、15時間をもって1単位とする。

第4条の2 法学部に、Global Vantage プログラム（以下「GVプログラム」という。）を置く。

2 GVプログラムの実施に関し必要な事項は別に定める。

第4条の3 法学部に、法科大学院連携プログラムを置く。

2 法科大学院連携プログラムの実施に関し必要な事項は別に定める。

第4条の4 法学部に、法学部、文学部、教育学部、経済学部及び工学部建築学科が協働して各学部の専門的なカリキュラムに加え副次的な学びの体系を提供することで、人文・社会科学分野における複数の学問的ツールと広範な知見とを兼ね備えた、視野の広い人材を育成するため、文学部、教育学部、法学部、経済学部及び工学部建築学科副専攻プログラム（以下「人社系副専攻プログラム」という。）を置く。

2 人社系副専攻プログラムは学部横断型副専攻プログラム及び専門領域型副専攻プログラムで構成する。

3 人社系副専攻プログラムの実施に関し必要な事項は別に定める。

(授業科目の履修及び単位の修得)

第5条 法学部の卒業の要件は、次の各号に定めるところにより、128単位以上を修得することとする。

- | | |
|------------|------|
| (1) 基幹教育科目 | 48単位 |
| 基幹教育セミナー | 1単位 |

課題協学科目	2. 5 単位	
言語文化科目		
言語文化基礎科目	1 2 単位	
文系ディシプリン科目	1 0 単位	
理系ディシプリン科目	5 単位	
サイバーセキュリティ科目	1 単位	
健康・スポーツ科目	1 単位	
総合科目	2 単位	
高年次基幹教育科目	2 単位	
上記のほか、別表第 1 備考 4 に定める授業科目		1 1. 5 単位

(2) 専攻教育科目から 8 0 単位以上

2 学生が各年次において履修登録できる専攻教育科目の単位数の上限については、次のとおりとする。ただし、必修科目、集中講義により開講される授業科目及び教授会の議を経て学部長が除外科目として認定した科目については、登録上限の対象外とする。

1 年次 6 単位

2 年次 4 8 単位

3 年次 4 8 単位

3 前項の規定にかかわらず、教授会の議を経て学部長が特別な事情があると認めた場合は、登録上限を超えて履修登録ができるものとする。

(学期)

第 6 条 学年を分けて、次の 2 学期とする。

前期 4 月 1 日から 9 月 3 0 日まで

後期 1 0 月 1 日から翌年 3 月 3 1 日まで

2 前項に定める各学期の授業期間は、別に定める。

(授業科目等の公示)

第 7 条 授業科目、授業時間数、単位数及び授業担任者の氏名は、各学期の始めにこれを公示する。

(授業科目の履修届)

第 8 条 学生は、各学期の始めに、履修しようとする授業科目を、学部長に届け出なければならない。

(単位修得の認定)

第 9 条 各授業科目の成績の評価は、その授業担任者が行う。

2 各授業科目の単位修得の認定は、学部長が行う。

3 前項の認定の方法については、教授会の議を経るものとする。

4 卒業論文は、教授会の議を経て指定された担任者がこれを考査する。

第 1 0 条 授業科目の成績評価は、学部通則第 1 7 条の 3 の規定により行うものとする。

第 1 1 条 単位修得の認定を筆記試験によって行う場合、試験実施の期日その他については、あらかじめ公示する。

(修業年限及び在学期間)

第 1 2 条 法学部の修業年限は、第 2 条の規定に該当するものを除き 4 年とする。

2 前項の規定にかかわらず、本学部で 3 年以上在学した者で、所定単位を優秀な成績で修得したものは、卒業者とすることができる。

3 在学期間は、8 年を超えることができない。ただし、第 2 条の規定に該当するものの在学期間は、その修業年限の 2 倍とする。

4 休学した期間は、前項の在学期間に算入しない。

(教職課程)

第 1 3 条 教育職員免許法（昭和 2 4 年法律第 1 4 7 号。以下「法」という。）に基づく中学校又は高等学校の教員の免許状を得ようとする者は、教科及び教科の指導法に関する科目、大学が独自に設定する科目、教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導

法及び生徒指導、教育相談に関する科目及び教育実践に関する科目について所定の単位を修得しなければならない。

第14条 教科及び教科の指導法に関する科目のうち、教科に関する専門的事項に係る授業科目は、別表第2から指定した授業科目のほか、別表第3に掲げる授業科目とする。

2 教科及び教科の指導法に関する科目のうち、各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）に係る授業科目、教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目及び教育実践に関する科目並びに大学が独自に設定する科目のうち別に定める科目については、本学教育学部の教職課程において開設する。

（科目等履修生）

第15条 科目等履修生として入学を志願できる者は、九州大学科目等履修生等規則（平成16年度九大規則第91号）第2条第1項に定めるところによる。

第16条 科目等履修生として入学を志願する者は、所定の願書に履修しようとする授業科目名を記載し、履歴書及び検定料を添えて、学部長に願い出なければならない。

2 学部長は、学生の授業に支障がないときは、前項の願い出があった者について選考の上、学年又は学期の始めに入学を許可することができる。

第17条 科目等履修生の履修した授業科目については、試験により所定の単位を与える。

2 前項の単位の授与については、第9条第1項、第10条及び第11条の規定を準用する。

第18条 学部長は、科目等履修生の修得した単位について、所要の証明書を交付することができる。

（聴講生）

第19条 特定の授業科目につき聴講を希望する者がいるときは、学期ごとに教授会の選考を経て、聴講生として許可することがある。

第20条 聴講生を希望する者は、聴講しようとする講義題目を記載し、履歴書を添えて、各学期の始めに、学部長に願い出て許可を得なければならない。

第21条 聴講生に対しては、単位修得の認定を行わない。ただし、法による単位を必要とする者については、この限りでない。

2 聴講証明書又は法に係る単位修得証明書は、請求があればこれを付与することがある。

（雑則）

第22条 この規則その他の規則等に定めるもののほか、本学部の校務について必要な事項は、学部教授会の議を経て、学部長が別に定める。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（平成16年度九大規則第207号）

1 この規則は、平成17年4月1日から施行する。

2 改正後の九州大学法学部規則は、平成17年度に本学部に入学者から適用し、平成17年3月31日に本学部在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成17年度九大規則第64号）

1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。

2 改正後の九州大学法学部規則は、平成18年度に本学部に入学者から適用し、平成18年3月31日に本学部在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成18年度九大規則第133号）

1 この規則は、平成19年4月1日から施行する。

2 改正後の九州大学法学部規則は、平成19年度に本学部に入学者から適用し、平成19年3月31日に本学部在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成19年度九大規則第13号）

- 1 この規則は、平成19年7月20日から施行する。
- 2 改正後の九州大学法学部規則第10条の規定は、平成19年度に本学部に入学者から適用し、平成19年3月31日に本学部在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成19年度九大規則第81号）

- 1 この規則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 改正後の九州大学法学部規則別表第1及び別表第2の規定は、平成18年度に本学部に入学者から適用し、平成18年3月31日に本学部在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。
- 3 改正後の九州大学法学部規則別表第3及び別表第4の規定は、平成20年度に本学部に入学者から適用し、平成20年3月31日に本学部在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成21年度九大規則第82号）

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学法学部規則は、平成22年度に本学部に入学者から適用し、平成22年3月31日に本学部在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成22年度九大規則第99号）

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学法学部規則は、平成23年度に本学部に入学者から適用し、平成23年3月31日に本学部在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成23年度九大規則第117号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学法学部規則は、平成24年度に本学部に入学者から適用し、平成24年3月31日に本学部在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成25年度九大規則第125号）

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学法学部規則は、平成26年4月1日に本学部に入学者から適用し、平成26年3月31日に本学部在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成26年度九大規則第149号）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学法学部規則第12条及び別表第3の規定は、平成27年4月1日に本学部に入学者から適用し、平成27年3月31日に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成27年度九大規則第58号）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学法学部規則（以下「新規則」という。）は、平成28年4月1日に本学部に入学者から適用し、平成28年3月31日に本学部在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、新規則のうち第5条の規定は、平成27年4月1日に本学部に入学者から適用し、平成27年3月31日に本学部在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。
- 4 第2項の規定にかかわらず、新規則のうち別表第1の規定は、平成26年4月1日に本学部に入学者から適用し、平成26年3月31日に本学部在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成28年度九大規則第32号）

この規則は、平成28年10月1日から施行する。

附 則（平成28年度九大規則第115号）

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学法学部規則第5条第1項、別表第1及び別表第2の規定は、平成29年4月1日に本学部に入学者から適用し、平成29年3月31日に本学部在学者、同年4月1日以降も引き続き在学者については、なお従前の例による。

附 則（平成29年度九大規則第111号）

- 1 この規則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学法学部規則（以下「新規則」という。）は、平成30年4月1日に本学部に入学者から適用し、平成30年3月31日に本学部在学者、同年4月1日以降も引き続き在学者については、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、新規則第4条の2の規定については、平成29年4月1日に本学部に入学者から適用し、平成29年3月31日に本学部在学者、同年4月1日以降も引き続き在学者については、なお従前の例による。

附 則（平成30年度九大規則第95号）

- 1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学法学部規則（以下「新規則」という。）は、平成31年4月1日に本学部に入学者から適用し、平成31年3月31日に本学部在学者、同年4月1日以降も引き続き在学者については、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、新規則第4条の2の規定は、平成27年4月1日に本学部に入学者から適用し、平成27年3月31日に本学部在学者、同年4月1日以降も引き続き在学者については、なお従前の例による。
- 4 第2項の規定にかかわらず、新規則別表第2の規定は、平成31年4月1日に本学部在学者から適用する。

附 則（令和元年度九大規則第44号）

- 1 この規則は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学法学部規則は、令和2年4月1日に本学部に入学者から適用し、令和2年3月31日に本学部在学者、同年4月1日以降も引き続き在学者については、なお従前の例による。

附 則（令和2年度九大規則第84号）

- 1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学法学部規則（以下「新規則」という。）は、令和3年4月1日に本学部に入学者から適用し、令和3年3月31日に本学部在学者、同年4月1日以降も引き続き在学者については、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、新規則別表第2及び別表第3の規定は、平成26年4月1日に本学部に入学者から適用し、平成26年3月31日に本学部在学者、同年4月1日以降も引き続き在学者については、なお従前の例による。

附 則（令和3年度九大規則第87号）

- 1 この規則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学法学部規則は、令和4年4月1日に本学部に入学者から適用し、令和4年3月31日に本学部在学者、同年4月1日以降も引き続き在学者については、なお従前の例による。

附 則（令和4年度九大規則第48号）

- 1 この規則は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学法学部規則（以下「新規則」という。）は、令和5年4月1日に本学部に入学者から適用し、令和5年3月31日に本学部在学者、同年4月1日以降も引き続き在学者については、なお従前の例による。

- 3 前項の規定にかかわらず、新規則第4条の4の規定は、令和4年4月1日に本学部に入学者から適用し、令和4年3月31日に本学部在学中、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。
- 4 第2項の規定にかかわらず、この規則による改正前の九州大学法学部規則別表第1の高年次基幹教育科目に係る単位数については、新規則の当該科目に係る単位数の規定を令和4年4月1日に本学部に入学者から適用し、令和4年3月31日に本学部在学中、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（令和5年度九大規則第51号）

- 1 この規則は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学法学部規則は、令和6年4月1日に本学部に入学者から適用し、令和6年3月31日に本学部在学中、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

別表第1 (基幹教育科目に関する授業科目、単位数及び最低修得単位数)

区分	授業科目	単位数	最低修得単位数	合計最低修得単位数
基幹教育セミナー	基幹教育セミナー	1	1	1
課題協学科目	課題協学科目	2.5	2.5	2.5
言語文化科目	学術英語・アカデミックイシューズ	1	第1外国語 英語 7	12
	学術英語・グローバルイシューズ	1		
	学術英語・プロダクション1	1		
	学術英語・プロダクション2	1		
	学術英語・再履修	1		
	学術英語・CALL1	1		
	学術英語・CALL2	1		
	学術英語・テーマベース	1	第2外国語 5	
	学術英語・スキルベース	1		
	専門英語	1		
	学術英語・集中演習	2		
	学術英語・上級	2		
	ドイツ語ⅠA	1		
	ドイツ語ⅠB	1		
	ドイツ語ⅡA	1		
	ドイツ語ⅡB	1		
	ドイツ語Ⅲ	1		
	ドイツ語Ⅳ	1		
	ドイツ語プラクティクムⅠ	1		
	ドイツ語プラクティクムⅡ	1		
	ドイツ語プラクティクムⅢ	1		
	フランス語ⅠA	1		
	フランス語ⅠB	1		
	フランス語ⅡA	1		
	フランス語ⅡB	1		
	フランス語Ⅲ	1		
	フランス語Ⅳ	1		
	フランス語プラティクⅠ	1		
	フランス語プラティクⅡ	1		
	フランス語プラティクⅢ	1		
	中国語ⅠA	1		
	中国語ⅠB	1		
	中国語ⅡA	1		
	中国語ⅡB	1		
	中国語Ⅲ	1		
	中国語Ⅳ	1		
	中国語実践Ⅰ	1		

	中国語実践Ⅱ	1		
	中国語実践Ⅲ	1		
	中国語集中演習	1		
	ロシア語ⅠA	1		
	ロシア語ⅠB	1		
	ロシア語ⅡA	1		
	ロシア語ⅡB	1		
	ロシア語Ⅲ	1		
	ロシア語Ⅳ	1		
	韓国語ⅠA	1		
	韓国語ⅠB	1		
	韓国語ⅡA	1		
	韓国語ⅡB	1		
	韓国語Ⅲ	1		
	韓国語Ⅳ	1		
	韓国語表現演習Ⅰ	1		
	韓国語表現演習Ⅱ	1		
	スペイン語ⅠA	1		
	スペイン語ⅠB	1		
	スペイン語ⅡA	1		
	スペイン語ⅡB	1		
	スペイン語Ⅲ	1		
	スペイン語Ⅳ	1		
	スペイン語表現演習Ⅰ	1		
	スペイン語表現演習Ⅱ	1		
	日本語Ⅰ	1		
	日本語Ⅱ	1		
	日本語Ⅲ	1		
	日本語Ⅳ	1		
	日本語Ⅴ	1		
	日本語Ⅵ	1		
	日本語Ⅶ	1		
文 系 デ ィ シ プ リ ン 科 目	法学入門	2	4	10
	政治学入門	2		
	哲学・思想入門	2	6	
	先史学入門	2		
	歴史学入門	2		
	文学・言語学入門	2		
	芸術学入門	2		
	文化人類学入門	2		
	地理学入門	2		
	社会学入門	2		
	心理学入門	2		
	現代教育学入門	1		
	教育基礎学入門	1		

	経済学入門	2		
	経済史入門	2		
	The Law and Politics of International Society	2		
理 系 デ ィ シ プ リ ン 科 目	社会と数理科学	1	5	5
	入門微分積分Ⅰ	1		
	入門微分積分Ⅱ	1		
	微分積分学Ⅰ	2		
	微分積分学Ⅱ	2		
	入門線形代数Ⅰ	1		
	入門線形代数Ⅱ	1		
	線形代数学Ⅰ	2		
	線形代数学Ⅱ	2		
	数学演習AⅠ	1		
	数学演習AⅡ	1		
	数学演習B	1		
	数理統計学	2		
	身の回りの物理学A	1		
	身の回りの物理学B	1		
	力学概論	2		
	電磁気学概論	1		
	力学概論演習	1		
	電磁気学概論演習	0.5		
	熱力学概論	1		
	熱力学概論演習	0.5		
	力学基礎	2		
	電磁気学基礎	1		
	力学基礎演習	1		
	電磁気学基礎演習	0.5		
	熱力学基礎	1		
	熱力学基礎演習	0.5		
	物理学の進展A	1		
	物理学の進展B	1		
	現代物理学基礎	2		
	電気電子工学入門	2		
	原子核物理学	2		
	身の回りの化学	1		
	無機物質化学Ⅰ	1		
	無機物質化学Ⅱ	1		
	有機物質化学Ⅰ	1		
	有機物質化学Ⅱ	1		
	基礎化学結合論Ⅰ	1		
	基礎化学結合論Ⅱ	1		
	基礎化学熱力学Ⅰ	1		
	基礎化学熱力学Ⅱ	1		
	現代化学	2		
	基礎生物有機化学Ⅰ	1		

	基礎生物有機化学Ⅱ	1		
	基礎生化学Ⅰ	1		
	基礎生化学Ⅱ	1		
	機器分析学	2		
	生命の科学A	1		
	生命の科学B	1		
	生物学概論	2		
	細胞生物学	2		
	集団生物学	2		
	分子生物学	2		
	生態系の科学	2		
	地球と宇宙の科学	1		
	地球科学	1		
	最先端地球科学	1		
	宇宙科学概論	2		
	デザインアプローチ	1		
	図形科学Ⅰ	1		
	図形科学Ⅱ	1		
	空間表現実習Ⅰ	2		
	空間表現実習Ⅱ	2		
	世界建築史概論	1		
	日本建築史概論	1		
	近・現代建築史	1		
	デザイン史A	1		
	デザイン史B	1		
	情報科学	2		
	プログラミング演習	1		
	コンピュータープログラミング入門	1		
	実験で学ぶ自然科学	1		
	自然科学総合実験	1		
	基礎科学実習	1		
サイバー セキュリティ 科目	サイバーセキュリティ基礎論	1	1	1
健康・ スポーツ 科目	健康・スポーツ科学演習	1	1	1
	身体運動科学実習ⅠA	0.5		
	身体運動科学実習ⅠB	0.5		
	身体運動科学実習ⅡA	0.5		
	身体運動科学実習ⅡB	0.5		
	身体運動科学実習ⅢA	0.5		
	身体運動科学実習ⅢB	0.5		
	身体運動科学実習ⅣA	0.5		
	身体運動科学実習ⅣB	0.5		
	身体運動科学実習Ⅴ	1		
	健康・スポーツ科学講義A	1		

	健康・スポーツ科学講義B	1		
	健康・スポーツ科学講義II	2		
総合科目	アカデミック・フロンティア I	1	2	2
	アカデミック・フロンティア II	1		
	大学とは何か I	1		
	大学とは何か II	1		
	九州大学の歴史 I	1		
	九州大学の歴史 II	1		
	女性学・男性学	2		
	日本事情	2		
	社会連携活動論：ボランティア	1		
	社会連携活動論：インターンシップ	1		
	Law in Everyday Life A	1		
	Law in Everyday Life B	1		
	バリアフリー支援入門	1		
	ユニバーサルデザイン研究	1		
	アクセシビリティ入門	1		
	アクセシビリティ支援入門	1		
	アクセシビリティ基礎	1		
	人と人をつなぐ技法	1		
	コミュニケーション入門	1		
	大学生活におけるリスクマネジメント	1		
	健康科学・内科学から見たキャンパスライフ	1		
	心理学・精神医学から見たキャンパスライフ	1		
	アジア埋蔵文化財学A	1		
	アジア埋蔵文化財学B	1		
	韓国・朝鮮研究の最前線 I	1		
	韓国・朝鮮研究の最前線 II	1		
	グローバル社会を生きる I	1		
	グローバル社会を生きる II	1		
	社会参加のための日本語教育 I	1		
	社会参加のための日本語教育 II	1		
	フィールドに学ぶA	1		
	フィールドに学ぶB	1		
	教育テスト論	2		
	現代企業分析	1		
	現代経済事情	1		
	水の科学	2		
	医療倫理学 I	1		
	医療倫理学 II	1		
	バイオエシックス入門	1		
	科学の進歩と女性科学者 I	1		
	科学の進歩と女性科学者 II	1		
	糸島の水と土と緑	1		
	命のあり方・尊さと食の連関	2		
	食肉加工の理論と実践	2		
	先進的植物生産システム概論 I	1		

	先進的植物生産システム概論Ⅱ	1		
	体験的農業生産学入門	1		
	農業と環境の科学	1		
	食科学の新展開	1		
	作物生産とフロンティア研究	1		
	持続可能な農業生産・食料流通システム	1		
	農業と微生物	1		
	企業から見たサイバーセキュリティA	1		
	企業から見たサイバーセキュリティB	1		
	サイバーセキュリティ演習	1		
	分子の科学	2		
	アイデア・ラボⅠ	2		
	アントレプレナーシップ入門	2		
	伊都キャンパスを科学するⅠ（軌跡編）	1		
	伊都キャンパスを科学するⅡ（現在編）	1		
	伊都キャンパスを科学するⅢ（展望編）	1		
	先端技術入門A	1		
	先端技術入門B	1		
	速習エスペラント	2		
	少人数セミナー	1		
	九州大学基幹教育科目履修規則（平成25年度九大規則第120号）第3条第2項の規定により定める授業科目			
高 年 次 基 幹 教 育 科 目	科学の歴史A	1	2	2
	科学の歴史B	1		
	科学の基礎（哲学的考察）	1		
	脳情報科学入門	1		
	認知心理学	1		
	Brain and Mind	1		
	統計的機械学習	1		
	現代社会Ⅰ	2		
	現代社会Ⅱ	2		
	現代社会Ⅲ	2		
	現代社会Ⅳ	2		
	現代史Ⅰ	2		
	現代史Ⅱ	2		
	現代史Ⅲ	2		
	現代史Ⅳ	2		
	EU論基礎—制度と経済—	2		
	技術と産業・企業	2		
	グローバル化とアジア経済	2		
	金融と経済	2		
	サイバー空間デザイン	2		
	芸術学概論	1		
	音楽・音響論	2		
	社会包摂とデザインA	1		

社会包摂とデザインB	1
環境問題と自然科学	2
環境調和型社会の構築	2
グリーンケミストリー	2
自然災害と防災	2
生態系の構造と機能 I	1
生態系の構造と機能 II	1
ジェンダー論	2
ボランティア活動 I	1
ボランティア活動 II	1
インターンシップ I	1
インターンシップ II	1
漢方医薬学	1
チーム医療演習	1
バイオインフォマティクス	2
臨床イメージング	1
社会と健康	2
国際保健と医療	2
アクセシビリティマネジメント研究	2
地球の進化と環境	2
生物多様性と人間文化A	1
生物多様性と人間文化B	1
遺伝子組換え生物の利用と制御	2
バイオテクノロジー詳論	2
平和と安全の構築学	1
文化と社会の理論	2
東アジアと日本ーその歴史と現在ー	2
法文化学入門	2
法史学入門	2
ローマ法史	2
国際社会論	2
プレゼンテーション基礎	1
レトリック基礎	1
技術と倫理	1
医療における倫理	2
研究と倫理	1
インフォームドコンセント	1
薬害	1
臨床倫理	1
アントレプレナーシップ・会計/ファイナンス 基礎	1
アントレプレナーシップ・戦略論基礎	1
アントレプレナーシップ・組織論基礎	1
アントレプレナーシップ・マーケティング基礎	1
キャリアのための自己探求学	1
グローバルPBLプログラム	2
新興国アントレプレナーシップ	2
Entrepreneurship Bootcamp	2

事業創造デザイン特論Ⅰ	1		
事業創造デザイン特論Ⅱ	1		
統計データ分析入門A	1		
統計データ分析入門B	1		
統計科学入門A	1		
統計科学入門B	1		
社会調査法A	1		
社会調査法B	1		
教育学特論	2		
教育心理学特論（教育・学校心理学）	2		
日本国憲法	2		
アナロジーのすすめⅠ	1		
アナロジーのすすめⅡ	1		
クリエイティブ産業と文化政策	2		
データサイエンス総論Ⅰ	1		
データサイエンス総論Ⅱ	1		
九州大学基幹教育科目履修規則（平成25年度 九大規則第120号）第3条第2項の規定によ り定める授業科目			
上記に掲げる最低修得単位のほか、備考4に定める授業科目		11.5	11.5

(備考)

- 1 「日本語Ⅰ」～「日本語Ⅶ」については、外国人留学生を対象とする授業科目として開設する。
- 2 外国人留学生は、言語文化基礎科目の履修について、第1外国語又は第2外国語として日本語を選択しなければならない。
- 3 高年次基幹教育科目「日本国憲法」は、第5条本文に定める卒業の認定を得るための単位数に含めない。
- 4 基幹教育科目の授業科目のうち、最低修得単位数を超えて修得する授業科目又は他学部の専攻教育科目。

別表第2 (専攻教育科目に関する授業科目、単位数及び最低修得単位数)

区分	授業科目	単位数	最低修得単位数		
必修科目					
展開科目	演習Ⅰ	4	8		
	演習Ⅱ	4			
入門科目	法政基礎演習	2	2		
選択必修科目					
基盤科目	法文化学基礎	2	42		
	法史学基礎	2			
	ローマ法Ⅰ	2			
	憲法Ⅰ ※1	4			
	憲法Ⅱ ※1	4			
	行政法Ⅰ ※1	4			
	労働法	4			
	民法Ⅰ ※1	4			
	民法Ⅱ ※1	4			
	民法Ⅲ ※1	4			
	民事訴訟法Ⅰ ※1	4			
	商法Ⅰ ※1	4			
	刑法Ⅰ ※1	4			
	刑法Ⅱ ※1	4			
	刑事訴訟法 ※1	4			
	国際公法	4			
	政治学原論	2			
	政治学史基礎	2			
	政治学Ⅰ	2			
	政治学Ⅱ	2			
	政治史	4			
	比較政治学Ⅰ	2			
	比較政治学Ⅱ	2			
	外国法律書講読又は外国政治書講読	2			
		法哲学		4	28
		日本法制史		4	
東洋法制史		4			
西洋法制史		4			
ローマ法Ⅱ		2			
比較法		4			

展 開 科 目	英米法	2	
	ドイツ法	2	
	フランス法	2	
	アジア法	2	
	中国法	4	
	法社会学	4	
	情報法	4	
	法情報学	2	
	紛争管理論	4	
	行政法Ⅱ ※1	4	
	行政学	4	
	租税法	2	
	社会保障法	4	
	経済法	4	
	家族法 ※1	4	
	民事訴訟法Ⅱ ※1	2	
	民事執行・保全法	2	
	商法Ⅱ ※1	2	
	商法Ⅲ	2	
	商法Ⅳ	2	
	少年法	4	
	刑事政策	4	
	国際経済法	4	
	国際私法	4	
	国際取引法	4	
	知的財産法	4	
	日本政治思想史	2	
	政治学史Ⅰ	2	
	政治学史Ⅱ	2	
	外交史	4	
	国際政治学Ⅰ	2	
	国際政治学Ⅱ	2	
	副演習Ⅰ	4	
	副演習Ⅱ	4	
	演習（留学者等特別認定）Ⅰ	2	
	演習（留学者等特別認定）Ⅱ	2	
演習（留学者等特別認定）Ⅲ	2		
演習（留学者等特別認定）Ⅳ	2		
L S 架橋演習 ※1	4		
G V プログラム特別演習 ※2	2		
九州大学法学部規則第4条第4項の規定により 教授会が定めた授業科目	2又は4		
必修科目及び選択必修科目として履修した科目 以外の科目	2又は4		

(備考)

※1の付された科目は法科大学院連携プログラムの必修科目であり、※2の付された科目はGVプログラムの必修科目である。

別表第3 (教科及び教科の指導法に関する科目のうち、教科に関する専門的事項に係る
授業科目及び単位数)

授 業 科 目	単位数
日本史学講義 I A	1
日本史学講義 I B	1
日本史学講義 III A	1
日本史学講義 III B	1
日本史学講義 VIII A	1
日本史学講義 VIII B	1
東洋史学講義 I	2
東洋史学講義 II	2
東洋史学講義 III	2
ヨーロッパ史学講義 I A	1
ヨーロッパ史学講義 I B	1
ヨーロッパ史学講義 II A	1
ヨーロッパ史学講義 II B	1
ヨーロッパ史学講義 III A	1
ヨーロッパ史学講義 III B	1
ヨーロッパ史学講義 IV A	1
ヨーロッパ史学講義 IV B	1
地理学概論 A	1
地理学概論 B	1
地誌学講義 I	2
地誌学講義 II	2
自然地理学講義 I	2
自然地理学講義 II	2
社会学講義 I	2
国際経済学 I	2
国際経済学 II	2
倫理学基礎論講義 I A	1
倫理学基礎論講義 I B	1
倫理学基礎論講義 II A	1
倫理学基礎論講義 II B	1
比較宗教学講義 I	2
比較宗教学講義 II	2
比較宗教学講義 III	2
比較宗教学講義 IV	2
比較宗教学概論 I	2
比較宗教学概論 II	2
宗教史講義 I	2
宗教史講義 II	2
宗教史講義 III	2
心理学講義 I (知覚・認知心理学)	2
心理学講義 II (知覚・認知心理学)	2